

SELEN

ハードディスクレコーダー

DVR-AT21F

取扱説明書

本機を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも確認できるよう、わかりやすい場所に保管してください。

他社製のカメラ、モニター、PCなどを接続する場合、それらの説明書も合わせてご参照ください。

目次

I. 各部の名称と働き	4
1. 前面パネル.....	4
2. 背面パネルと接続例	7
3. リモコン	8
4. マウス.....	9
II. システム開始	10
III ライブ映像	12
1. 画面上の表示	12
2. 分割画面表示	14
3. 画面移動	15
4. ズーム機能.....	15
IV. 操作	16
1. ログイン/ログアウト	16
2. メニューの操作方法	17
V. 設定	18
1. 画面の設定.....	18
2. カメラの設定	22
3. 録画の設定.....	26
■ 録画日数の目安.....	29
4. 予約録画	33
5. ディスク	36
6. ネットワーク.....	39
7. デバイス	47
8. システム	52

VI. PTZの制御 / UTC機能	59
1. PTZメニュー	59
2. プリセットとツアー	60
3. カスタム機能	62
4. 自動パン・自動チルト・電源	62
5. PTZ カメラモデルリスト	62
6. UTC機能	63
VII. 再生/検索	64
1. 再生	64
2. 検索	64
3. GOTO SEARCH (日時入力検索)	68
4. ログリスト検索	69
VIII. バックアップ	70
1. 手動バックアップ	70
2. バックアップデータの再生	72
3. 自動バックアップ(FTP)	74
4. ログリストのバックアップ	76
IX. 仕様	77

梱包内容の確認

梱包内容を確認してください。部品が足りない場合や破損している場合は、すぐにお買い求めいただいた販売店にご連絡下さい。なお、梱包材は本機を輸送する時に必要となりますので保管しておいてください。

品名	数量
本体	1
リモコン	1
電池 (コイン型)	1
ACアダプター	1
電源コード	1
取扱説明書	1
ソフトウェアCD	1
マウス	1
HDMIケーブル	1

※ ソフトウェアCDは8cmCDを使用しています。ドライブがスロットインタイプのPCなど、対応していないPCには使用しないでください。

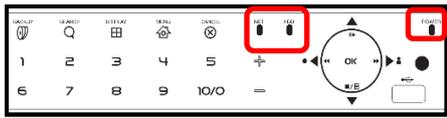
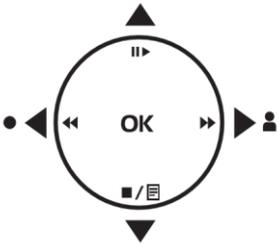
本書の表記について

本書内に記載しているイラストや画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。

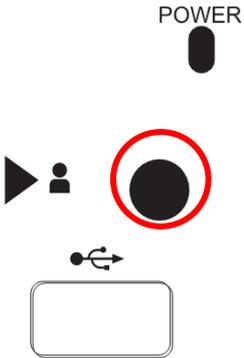
製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合がございます。

I. 各部の名称と働き

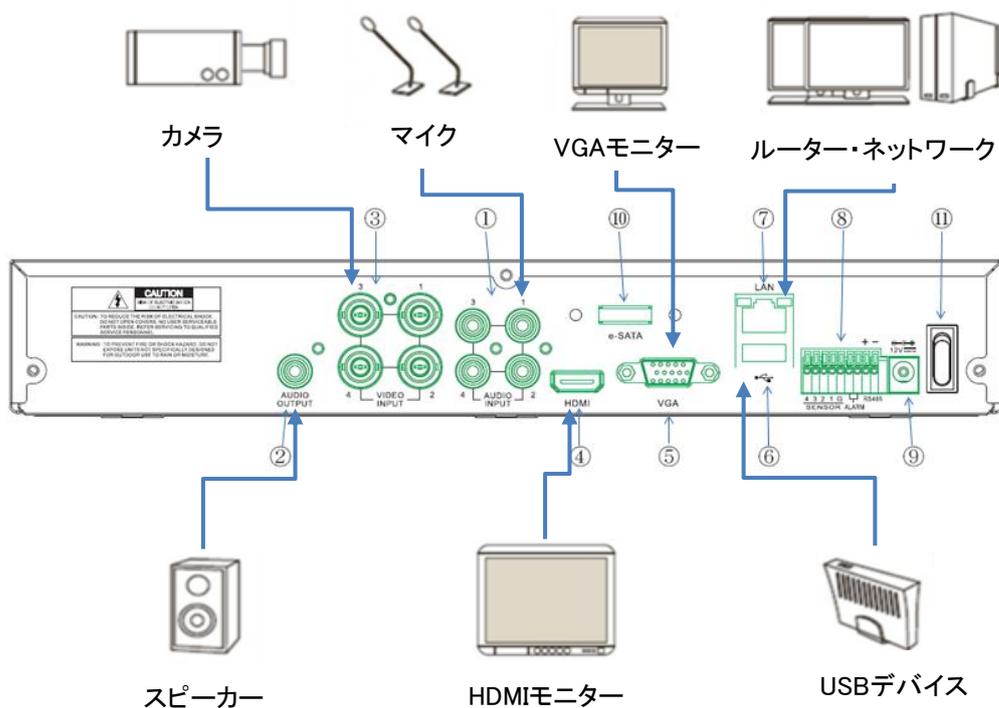
1. 前面パネル

モードインジケータ			
1		3つのLEDはDVRの状態を表しています。 NET：緑色、アクセス時に点灯 HDD：赤色、アクセス時に点滅 POWER：青色、使用時に点灯	
再生/録画制御			
2	方向ボタン		メニュー画面でカーソルを移動する時に使用します。
3	一時停止/ 再生		録画映像の再生中にこのボタンを押すと一時停止します。一時停止中にこのボタンを押すと再生します。
4	コマ送り/ 早送り		コマ戻し：一時停止中にこのボタンを押すとコマ戻しになります。 早戻し：再生中にこのボタンを押すと早戻しになります。
5	コマ送り/ 早送り		コマ送り：一時停止中にこのボタンを押すとコマ送りになります。 早送り：再生中にこのボタンを押すと早送りになります。

6	録画		録画を開始/停止します。
7	停止		再生を停止します
メニューボタン			
8	メニュー	MENU 	メインメニュー画面を表示します。
9	ログイン/ ログアウト		ログイン/ログアウトします。
10	ログ		ログリストを表示します。
11	エンター	OK	メニューの設定値を保存します。
12	キャンセル	CANCEL 	キャンセルします。
13	プラス/ マイナス		+ : このボタンを押すと値が増加します。 - : このボタンを押すと値が減少します。
14	チャンネル/ 数字	1~10/0のボタン	日付の選択、パスワードの入力、カメラチャンネルの選択、数値の入力などに使用します。
機能			
15	バックアップ	BACKUP 	バックアップメニューに入ります。

16	検索	SEARCH 	時間検索メニューが表示されます。
17	ディスプレイ	DISPLAY 	監視画面を分割表示します。
18	USBポート		マウスなどのUSB機器を接続します。
19	リモコン受信部	POWER 	この位置にあります。前をふさがないように注意してください。

2. 背面パネルと接続例



①	AUDIO IN	RCA 入力 (1~4 ch)
②	AUDIO OUT	RCA 出力 1 ch
③	VIDEO IN	BNC 入力 (カメラ 1~4)
④	HDMI	HDMI モニター出力
⑤	VGA	VGA モニター出力
⑥	USB	USB メモリー、マウスなどUSB機器の接続
⑦	LAN	RJ-45 イーサネットポート
⑧	SENSOR IN	アラーム入力 (S1~S4)/リレー出力 (R1, R2)/ RS-485 : PTZ カメラ制御 (+, -)
⑨	POWER	DC アダプター接続
⑩	e-SATA	e-SATA 装置連結端子
⑪	電源スイッチ	シャットダウンの処理が終わった後にスイッチを操作して下さい。

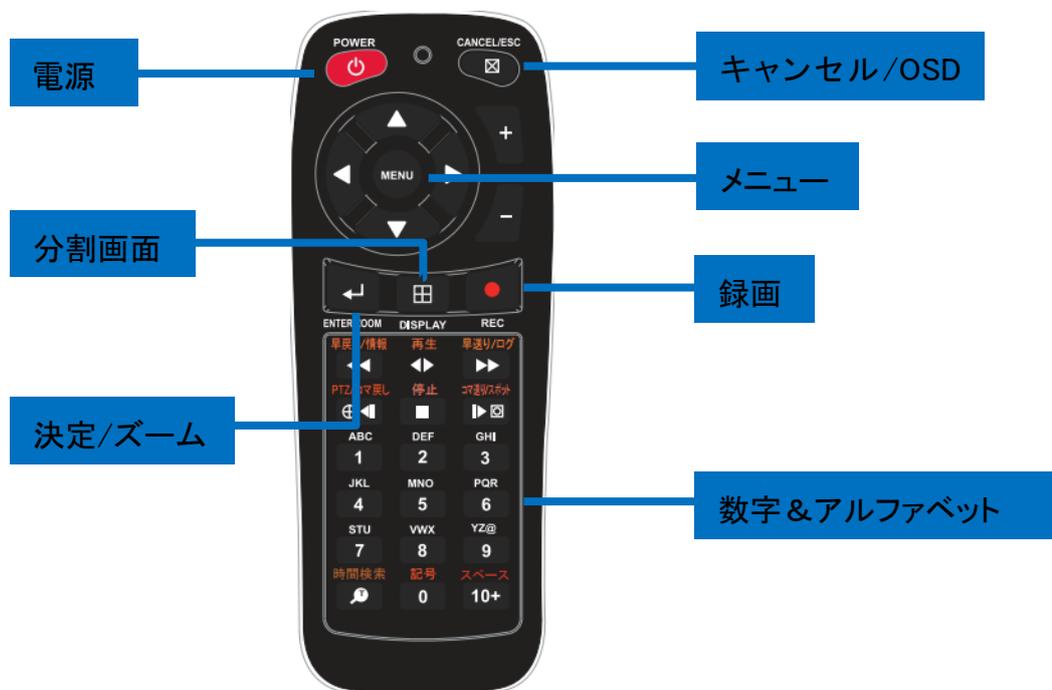
※ネットワーク接続用PCの推奨システム条件

OS	Windows 7以上
CPU	core i5
RAM	4G バイト
VGA	PCI-E 512M
DirectX	DX9.0 サポート
ネットワーク	100M イーサネット LAN
HDD	500G バイト以上

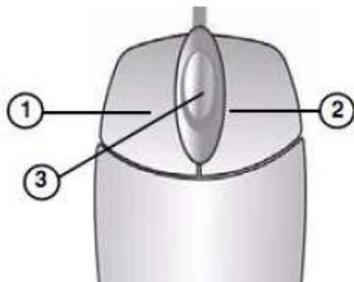
注意

DVRの遠隔監視はPCのインターネット接続設定等にも依存します。
本機と他社製のネットワーク機器等との間で生じる相性の問題について弊社は責任を負いません。

3. リモコン



4. マウス



本機はマウスを使用することができます。マウスは本体前面背面いずれかのUSB端子に接続します。

1) 左クリック - 分割画面でダブルクリックすると、全画面表示に切り替わります。また、全画面表示のときにダブルクリックすると分割画面に戻ります。

また、シングルクリックでメニューを選択したり、変更する時に左クリックを使用します。

2) 右クリック - シングルクリックでメニュー画面が表示されます。

3) マウスホイール : 選択された値を増加/減少させます。 .

5. 仮想キーボード

本機は画面上で仮想（バーチャル）キーボードを使用します。前面か背面のUSBポートにマウスを接続し、マウスで操作してください。画像の○の部分のマウスで左クリックすると下のような仮想キーボードが表示されます。

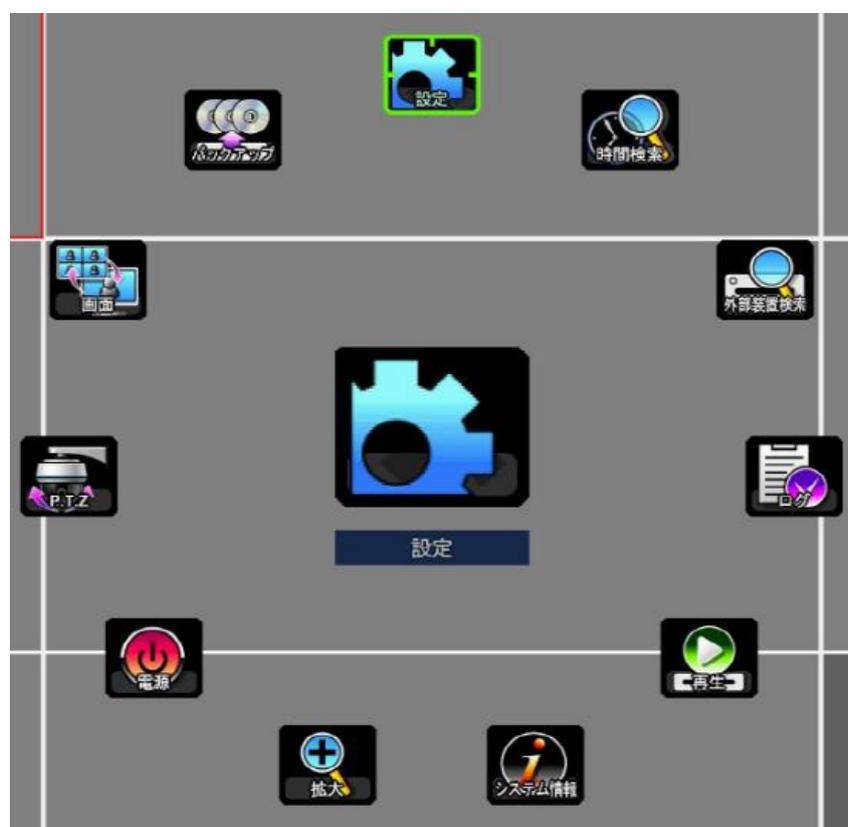


II. システム開始

メインメニュー

電源を入れ、起動後にマウスで右クリックすると（もしくはフロントパネルカリモコンのメニューボタンを押すと）、メインメニューが表示されます。

アイコンを選択し、「設定」、「時間検索」、「外部装置検索」、「ログ」、「再生」、「情報」、「ズーム」、「電源」、「PTZカメラ制御」、「分割画面」、「バックアップ」の各メニューへ入ります。



※メニューの表示が小さく感じる場合は拡大することができます。「メインメニュー」→「設定」→「デバイス」メニューへと進み、「画面」タブの「OSDサイズ」の項目で「拡大」を選び、保存します。設定の変更を画面に反映させるには一度電源を切り、再度起動します。（「拡大」機能は解像度の設定が1920×1080の場合のみ使用できます。）

ログイン

それぞれのメニューに入るためにはログインする必要があります。

管理者 (admin) の初期設定のパスワードは “000000” です。

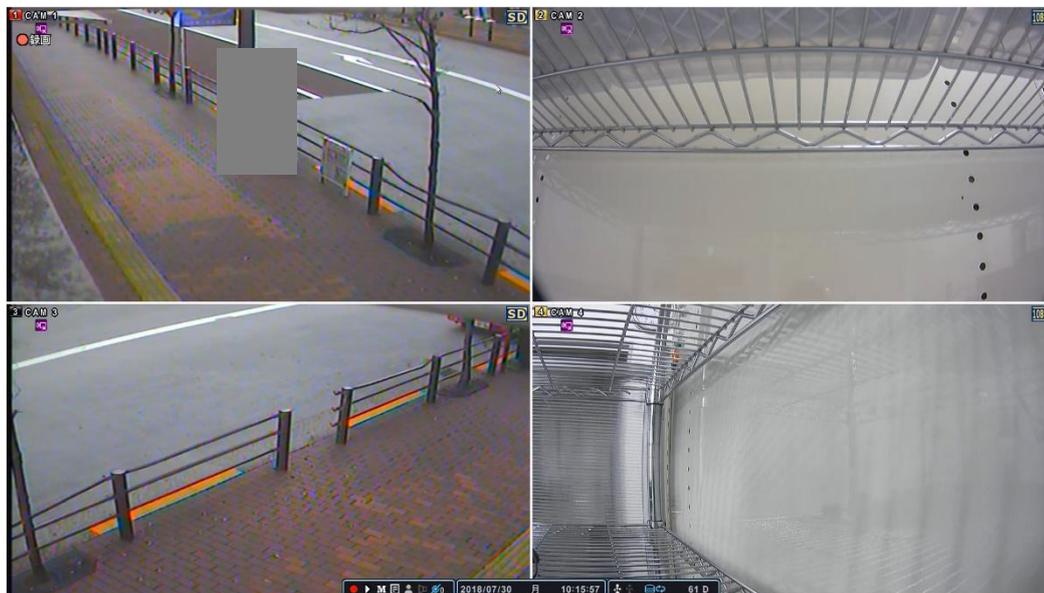


日時の設定

日時の初期設定は 2009年1月1日、木曜日、01 : 00 : 00となっています。最初に現在の日時を設定してください。メインメニューから「設定」→「システム」→「日時設定」へと進み、設定します。(→P.53)



Ⅲ ライブ映像



1. 画面上の表示

1.1. 録画モード

画面左上のチャンネル番号の背景の色は録画状態を表しています。

赤		イベント(モーション/アラーム) 録画
黄		常時録画
黒		録画していない

1.2. イベント表示

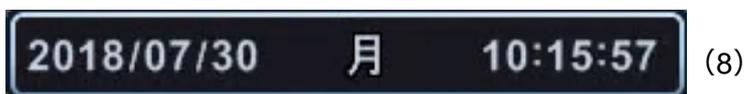
画面左上にイベントの内容を表示します。

モーション検知		モーション検知（動きを検知したこと）を示します。
ビデオロス検知		録画中に映像信号が中断されたこと（ビデオロス）を示します。[CANCEL] ボタンを押すと消えます。
アラーム検知		本体に接続したアラーム・センサーが反応したことを示します。（弊社はアラームセンサーの販売は行っておりません。）

1.3. ステータス・バー

各機能の状態を示します。画面下部に表示されます。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)



1	録画	録画中は赤、録画していないときは白になります。クリックすると切り替わります。
2	再生	クリックすると最新の録画映像を再生します。再生中は緑色になります。
3	メニュー	クリックするとメインメニューを表示します。
4	ログ	クリックするとログリストを表示します。
5	ログイン	ログインの状態を示します。() A : 管理者、U : ユーザー (ログイン中にこのアイコンをクリックするとログアウトします。)
6	音声	録音中は青色になります。
7	アクセス数	ネットワーク経由の本機へのアクセス数を表示します。
8	日付、時刻	日付、時刻を表示します。
9	USB	USB機器が接続されるとアイコンが白くなります。
10	HDD	HDDの残りの容量を表示します。空き容量が5GB未満になると、リサイクルアイコンが表示されます。(HDDの空き容量がなくなった場合、上書き録画の設定をONにしていると、録画が上書きされます。)
11	録画目安	録画可能時間の目安を表示します。録画設定により数値が変わります。

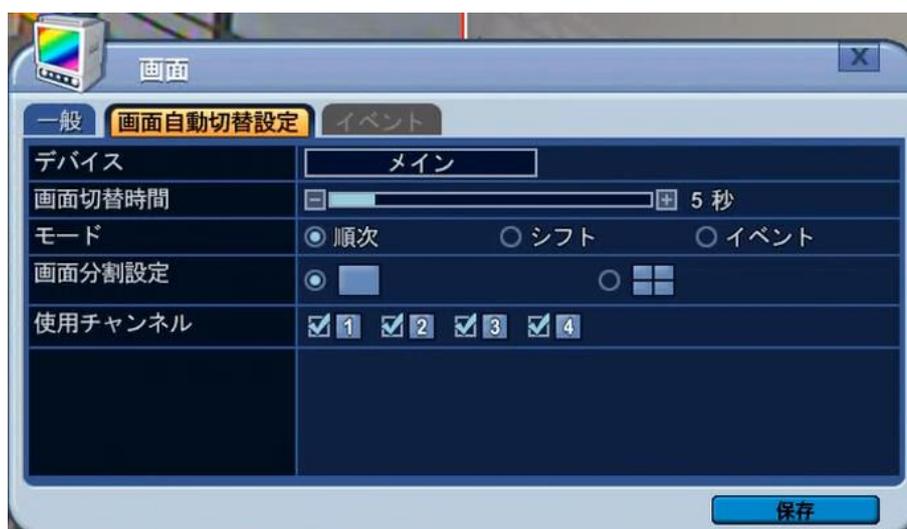
2. 分割画面表示

2.1. 単一画面表示

1つの画面を全画面で表示したいときは、表示したいチャンネルの映像をマウスでダブルクリックします。本体前面パネルかリモコンで操作する場合は数字ボタンを押します。

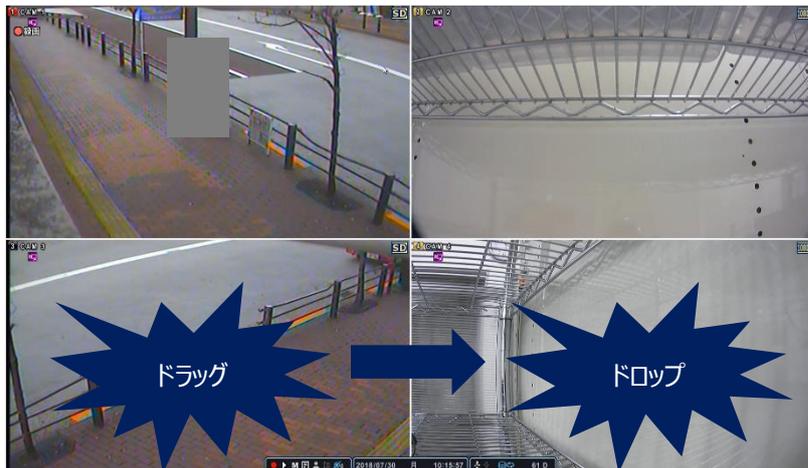
2.2. 分割画面表示と画面自動切替

- 1) 本体前面パネルもしくはリモコンの「DISPLAY」ボタンを押すと分割画面表示になります。マウスの場合、単一画面表示中の画面をダブルクリックすると分割表示になります。
- 2) 画面自動切替を開始するにはフロントパネルもしくはリモコンの「DISPLAY」ボタンを2秒間押します。マウスで操作する場合は右クリックしてメニューを表示し、「画面」メニューを開いて画面切替のアイコンをクリックし  ます。
- 3) 画面切替の設定は「メニュー」→「設定」→「画面」の「画面自動切替設定」で行います。（詳細はP.19をご覧ください。）



3. 画面移動

画面分割モードでカメラの画面の表示する位置を移動することができます。
マウスで画面をドラッグアンドドロップします。ドラッグした画面とドロップした位置にあった画面が入れ替わります。



4. ズーム機能

ライブ監視の時、画面の見たい部分を拡大することができます。

1. 拡大したいカメラの映像を単一画面表示にします。
2. リモコンの「ズーム」ボタンを押します。右下にズームエリアボックスが表示されます。
3. 方向ボタンを使い、ボックスを移動します。
4. [+、-]ボタンでズームイン、ズームアウトします。
5. [キャンセル]ボタンを押すと通常モードに戻ります。

(マウスで操作する場合は「メインメニュー」→「拡大」を選択して操作します。)

注意

分割画面の状態ではズームボタンを押した場合はチャンネル1のカメラが拡大されます。

IV. 操作

1. ログイン/ログアウト

ハードディスクレコーダーを操作するにはログインする必要があります。

初期設定のユーザー名は「**admin**」（管理者）、パスワードは「**000000**」です。

注意

安全のため、パスワードは必ず変更してください。（変更方法は P.53をご覧ください。）

1. ログイン

- ※ 電源を入れます。
- ※ 50秒程度の起動の後、ライブ監視画面が表示されます。（HDDの不良が検知されると長引くことがあります。その場合警告メッセージが表示されます。）
- ※ マウスで画面上のステータスバーのログインアイコンをクリックすると、ログイン画面が現れます。フロントパネルで操作する場合はログインボタンを押します。
- ※ ログイン  アイコンがステータス・バーに表示されます。



2. ログアウト

ログインした状態でマウスで画面上のログインアイコンをクリックすると、ログアウトします。フロントパネルで操作する場合はログインボタンを押します。

2. メニューの操作方法

1	ログイン	「管理者 (admin) 」か「ユーザー」のアカウントでハードディスクレコーダーにログインします。（「ユーザー」の初期設定の権限では各メニューの設定を変更することはできません。）
2	メインメニューの表示	画面上でマウスを右クリックするとメインメニューが表示されます。またはフロントパネルかリモコンの「メニュー」ボタンを押すと表示されます。
3	メニューの選択	マウスでアイコンをクリックします。フロントパネルかリモコンで操作する場合は左右[▶]ボタンで選択し「ENTER」ボタンを押します。
4	下位メニューへの移動	下位のメニューに入るにはマウスでクリックするか、フロントパネルかリモコンの方向[▲▼◀▶]ボタンでメニューを選び、[ENTER]ボタンを押します。
5	数値などの設定	各項目の数値や選択肢を変更する場合はマウスで画面上の[+、-]のアイコンをクリックするか、フロントパネルかリモコンの方向ボタンで項目を選び、[+、-]ボタンを押します。
6	変更の保存	変更を保存するには[保存]ボタンを押します。 保存せずにメニューを抜けるにはマウスで右クリックするか、フロントパネルかリモコンの[MENU]ボタンあるいは[CANCEL]ボタンを押します。

注意

メニューの中には録画を停止しなければ設定できないものがあります。録画を停止するには画面下部ステータスバーの赤い○をクリックし白にします。

V. 設定

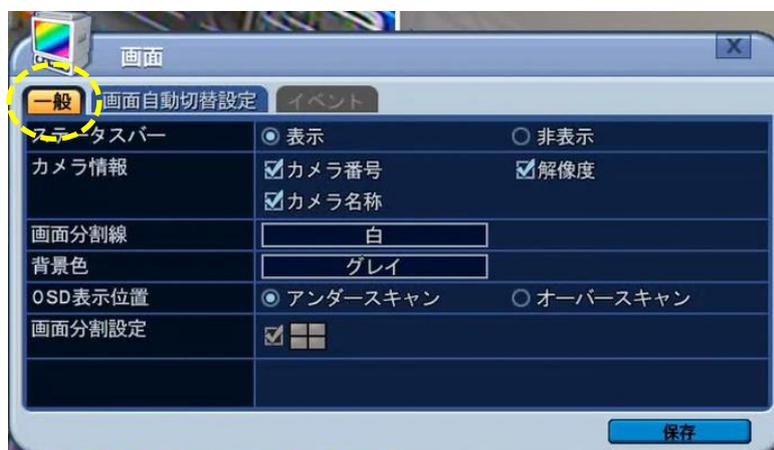
1. 画面の設定

画面の設定を行います。

- ※ モニターによっては画面下のステータスバーが画面内におさまらないことがあります。その場合は「画面」→「一般」タブの「OSD表示位置」の項目を「オーバースキャン」に設定してください。



1.1. 一般



各項目

ステータス・バー	画面下部のステータス・バーの表示・非表示を切り替えます。
カメラ情報	チェックを入れた項目を表示します。
画面分割線	カメラ映像間の分割線の色を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]

背景色	映像信号のない状態の背景色を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]
OSD 表示位置	- アンダースキャン: ツールバー等を画面の外枠に寄せて表示します。 - オーバースキャン: ツールバー等を画面の外枠より少し内側に表示します。
画面分割設定	このメニューは使用しません。

変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

1.2. 画面自動切替設定



各項目

デバイス	この項目は使用しません。
画面切替時間	画面切替の時間を選択します。[1秒 ~ 30秒]
モード	画面切替のモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 順次: 単一画面表示の画面を自動で切り替えます。下の「画面分割設定」の項目で左の単一画面を選択してください。 ■ シフト: 単一画面表示、4画面表示いずれの場合も画面を自動で切り替えます。4画面表示の場合は左上の画面を1から番号順に切り替えます。 ■ イベント: イベントが検出されたとき、設定したカメラの

	映像が単一画面で表示されます。 ※ 動作の開始は「メインメニュー」で「画面」アイコン  を選択し、右下の  のアイコンで行います。もしくはリモコンの画面分割ボタンを長押しします。
画面分割設定	単一画面か4分割画面かを選びます。
使用チャンネル	自動切替のときに表示するカメラを選択します。
イベント反応時間	「モード」で「イベント」を選択したときに、イベントを検知したチャンネルを単一画面で表示する時間を指定します。

変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

1.3. イベント

画面自動切替設定の「モード」の項目で「イベント」を選択すると「イベント」タブの設定が可能になります。



■アラーム入力

本機のアラーム入力端子にセンサーなど（弊社では販売しておりません。）を接続した場合に使用します。センサーが検知したときに指定した画面を表示します。

■モーション

モーション（動き）を検知したときに指定した画面を表示します。（例えばチャンネル1のモーションの設定を3に指定すると、チャンネル3でモーションを検知したときにチャンネル1の画面を表示します。）

■ビデオロス

ビデオロス（映像信号の消滅）を検知したときに指定した画面を表示します。

（例えばチャンネル1のビデオロスの設定を3に指定すると、チャンネル3の映像信号が消えたときにチャンネル1の画面を表示します。）

■システム

この項目は使用しません。

※ メニュー画面右のアイコン  をクリックすると下の画面が表示され、チャンネルごとに全てのイベントの設定ができます。（「システム」の項目はサポートしておりません）



2. カメラの設定

カメラのモーション検知の設定、プライバシーゾーン指定、PTZ使用または映像の調整(輝度、コントラスト、カラー)などを行います。



ウィンドウ上部のカメラの番号を選択します。マウスでアイコンをクリックするか、フロントパネルかリモコンの方向[◀▶]ボタンまたは数字ボタンを操作します。

2.1. 映像の調整

各カメラの映像の調整を行います。

各項目

輝度	明るさを調整します。
コントラスト	コントラストを調整します。
カラー	色合いを調整します。
彩度	色の強さを調整します。

変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

2.2. モーション検知の設定

モーション（動き）検知の設定を行います。



感度設定	モーション検知の感度を調整します。（レベル1～20。レベルが高いほど感度が高くなります。）
エリア設定	<p>モーションを検知する範囲を設定します。（初期設定ではエリアは選択されていません。モーション検知を使用する場合は必ずこの設定を行ってください。）</p> <p> : 全ての範囲を選択  : 全ての範囲を削除  : 特定の範囲を選択</p> <p>特定の範囲を選択するには選択したいエリア（四角形）をマウスでダブルクリックするか、フロントパネルリモコンの方向ボタンで選択するエリアを決めて[+]ボタンを押します。選択されたエリアは青色に変わります。</p>

変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

2.3. プライバシー保護

画面に表示させたくないエリアを、各カメラにつき4つまで設定できます。

選択されたエリアはライブ画面でも再生画面でも表示されません。



 : 全て削除

 : 特定範囲を選択

マウスでドラッグ&ドロップするか、フロントパネルかリモコンの方向ボタンで選択するマスを決めて[+]ボタンを押します。複数の範囲を指定する場合は、1つの範囲を指定するごとに右の数字を変えます。

2.4. PTZカメラの設定

PTZカメラはDVRの背面のRS-485ポートに接続します。複数のPTZカメラを接続する場合、デージーチェーン方法で接続します。本機では複数のPTZカメラを別々に操作することができます。（弊社ではPTZカメラの販売は行っておりません。）

「PTZ」の項目の「設定」アイコンを押すと、PTZ設定メニューへ入ります。



- ① 通信設定 : カメラモデルを設定し、対応するボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。
- ② ツアーグループ: 事前にプログラムされたPTZプリセットの自動切替に従い、カメラを移動させます。詳しくは「パン、チルト、ズームの制御 (P.59～)」をご参照ください。

2.5. カメラタイトル

各カメラの名称を割り当てます。

3. 録画の設定

本機は購入後、電源を入れるとすぐに録画されるよう設定されています（「常時録画」モードで録画されます）。ここでは録画の詳細な設定の方法を説明します。

3.1. 一般



各項目

予約録画使用	「オフ」に設定すると「デイ」モードで録画されます。「オン」に設定すると「ナイト」モードでの録画が可能になります。「デイ」と「ナイト」それぞれのモードの録画設定を行い、曜日や時間ごとに「デイ」モードと「ナイト」モードを自由に組み合わせて録画できます。（初期設定は「オフ」。）詳細はP.33。
起動時録画	起動時、録画ボタンを押さなくても録画します。 （初期設定では「オン」）
上書き録画	「オン」：HDDの残量がなくなったとき、自動で古いデータから順番に新しいデータに書き換えます。（初期設定で「オン」） 「オフ」：HDDの残量がなくなると録画を中止します。
自動削除	HDDのデータを自動で削除するまでの期間を設定します。 （なし～30日、初期設定は「なし」。）
事前録画	イベント録画時の、イベント検知前にさかのぼって録画する時間を選択します。（1～5秒、初期設定は5秒。設定を変えるときは録画を停止してください。）

事後録画	イベント録画のイベント検知後の録画時間を選択します。(5~300秒、初期設定は10秒。設定を変えるときは録画を停止してください。)
------	---

注意
 イベント録画中、別のイベントが検出されると録画時間が延長されます。

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

3.2. 解像度と録画フレーム数の設定

※ この設定は録画を停止しなければ行うことができません。録画を停止してから設定を行い、設定終了後に録画を再開してください。録画の停止と開始は画面下部左端の丸いアイコンか、本体またはリモコンの録画ボタンで行います。画面下部のアイコンは赤い丸が録画中、白い丸が録画停止中を表します。

1. 「モード」のタブを選択します。



2. チャンネルごとに解像度と録画フレーム数 (F/S : 1秒あたりに記録する画像の数) を設定します。設定できる解像度と録画フレーム数は右の表の通りです。(初期設定では「AUTO」になっています。「AUTO」は接続しているカメラで設定し得る最高の解像度で録画します。) 録画しないチャンネルは「オフ」に設定します。

解像度	録画フレーム数		
オフ			
360×240	7	15	30
720×240	7	15	30
720×480	7	15	30
960H	7	15	30
720P	7	15	30
1080P	7	15	30
AUTO			

3. 画面の「+」の下の「640」などの数値は録画指数です。解像度や録画フレーム数が増えるほど数値が上がります。4チャンネルの合計で2,560まで設定できます。録画指数の合計が高いほど録画できる時間が短くなります。

3.3. 常時録画モードで録画する

本機は購入後電源を入れるとすぐに常時録画モードで録画するよう設定されています。ここでは常時録画モードの詳細な設定の方法を説明します。



1. 「デイ」のタブを選択します。各チャンネルの解像度は「モード」タブで選択した値が反映されています。
2. 録画フレーム数
上の枠の中を設定します。録画フレーム数 (F/S) は「モード」タブで選択した数値が反映されていますが、このメニューでさらに細かく調整すること

ができます。（ここで設定した録画フレーム数は「モード」タブには反映されませんが、実際の録画はこちらで設定したフレーム数で行われます。）

3. 画質

画質の設定が高いほど鮮明な映像になります。（低画質～超高画質）

※ 他のチャンネルに同じ設定を適用するにはフロントパネルかリモコンの[画面分割]ボタンを押してください。

※ マイクつきのカメラを接続した場合、「音声」の項目を「オン」にすると録音できます。

■ 録画日数の目安

4チャンネル、常時録画、解像度1080P、「高画質」で録画した場合

録画フレーム数	録画日数の目安
7 F/S	38日
15 F/S	17日
30 F/S	9日

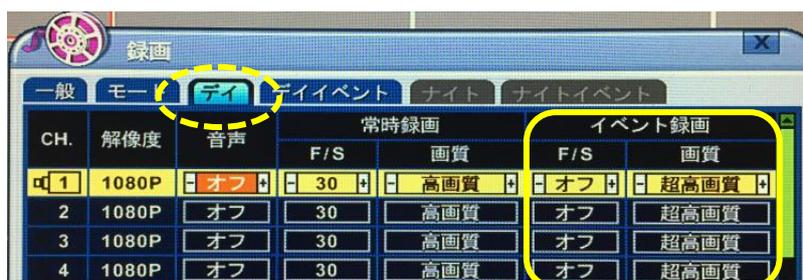
※ あくまでも目安です。録画日数を保証するものではありません。

※ 被写体の色、明るさ、動きなどにより極端に短くなる場合があります。

※ 録画日数の目安は画面下部のステータスバーの右端に表示されます。録画設定終了後、録画を開始してからご確認ください。

3.4. イベント録画モードで録画する

イベントの発生をきっかけとして録画するよう設定することができます。イベントには「アラーム」、「モーション」、「ビデオロス」の3種類があります。



1. 録画フレーム数

「デイ」タブを選び、上の写真の赤い枠の中を設定します。「F/S」の項目ではイベントが発生し、録画するときの録画フレーム数を選びます。

2. 画質

画質の設定が高いほど鮮明な映像になります。（低画質～超高画質）

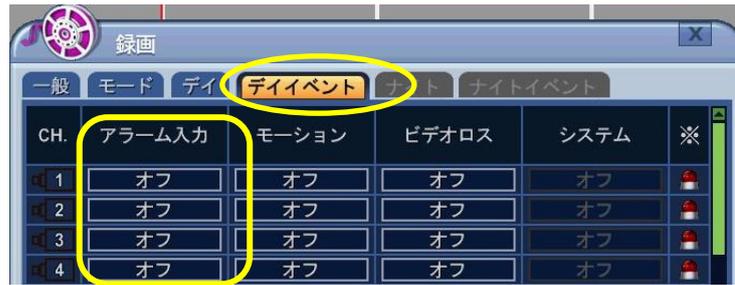
注意

イベント録画と常時録画は、どちらか一方に設定することも、同時に両方設定することもできます。イベント録画モードのみで録画する場合は、「デイ」タブの「常時録画」の項目の下の「F/S（録画フレーム数）」を「オフ」にしてください。常時録画モードのみで録画する場合は、「イベント録画」の項目の下の「F/S」を「オフ」にしてください。

イベント録画と常時録画を同時に設定すると、通常は常時録画モードのフレーム数と画質で録画し、イベント発生時はイベント録画モードのフレーム数と画質で録画します。

① アラーム録画

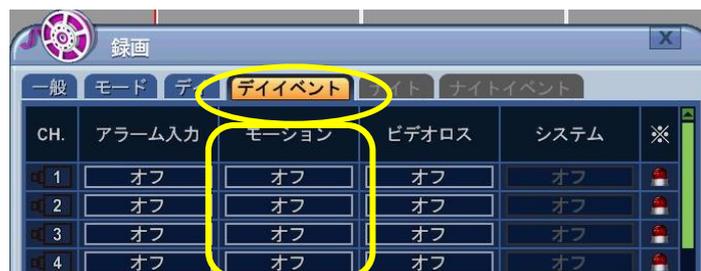
本体背面のアラーム入力端子に接続したセンサー（弊社では販売しておりません。）の検知をきっかけとして特定のカメラの映像を録画するように設定します。上記の「1. 録画フレーム数」と「2. 画質」の設定を行ったあと、「録画」メニューから「デイイベント」のタブを選び、下の写真の赤い枠の中を設定します。センサーは4つまで接続できます。1つのカメラに対して自由にセンサーを紐付けすることができます。（例えば、CH.1の「アラーム入力」の項目を「3」に設定した場合、アラーム入力端子の「3」に接続したセンサーが検知するとCH.1が録画されます。）



※ 複数のセンサーを1つのカメラに紐付けする場合は右端の  のアイコンをクリックして設定します。

② モーション録画

被写体の動きを検知し、それをきっかけとして録画するよう設定します。上記の「1. 録画フレーム数」と「2. 画質」の設定を行ったあと、「録画」メニューから「イベント」のタブを選び、下の写真の赤い枠の中を設定します。動きを検知したチャンネルを録画したり、動きを検知したチャンネルとは別のチャンネルを録画したり、両方を録画したりすることができます。きっかけとなるチャンネルと録画するチャンネルは自由に組み合わせることができます。（例えば、CH.1の「モーション」の項目を「3」に設定した場合、CH.3で動きが検知されるとCH.1が録画されます。）

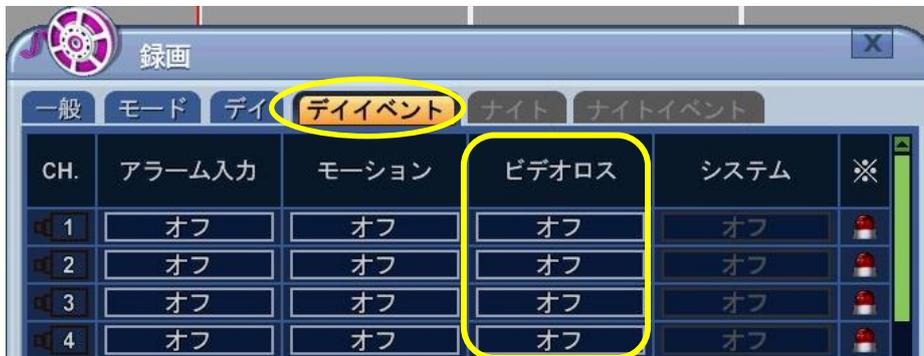


※ 複数のチャンネルを1つのチャンネルの録画のトリガー（きっかけ）として設定する場合は右端の  のアイコンをクリックして設定します。

※ 初期設定ではモーションエリアが選択されていないため、そのままでは検知できません。P.23「モーション検知の設定」を参照して必ずモーションエリアを選択してください。

③ ビデオロス発生時の録画

ビデオロス(映像信号の喪失)が発生したときに録画するよう設定します。上記の「1. 録画フレーム数」と「2. 画質」の設定を行ったあと、「デイイベント」のタブを選び、下の写真の赤い枠の中を設定します。ビデオロスを検知するチャンネルと録画するチャンネルは別になるように設定してください。(同じチャンネルに設定しても映像信号がないため録画されません。例えば、CH.1の「ビデオロス」の項目を「3」に設定した場合、CH.3の映像信号が喪失したときにCH.1が録画されます。)



■ イベント編集

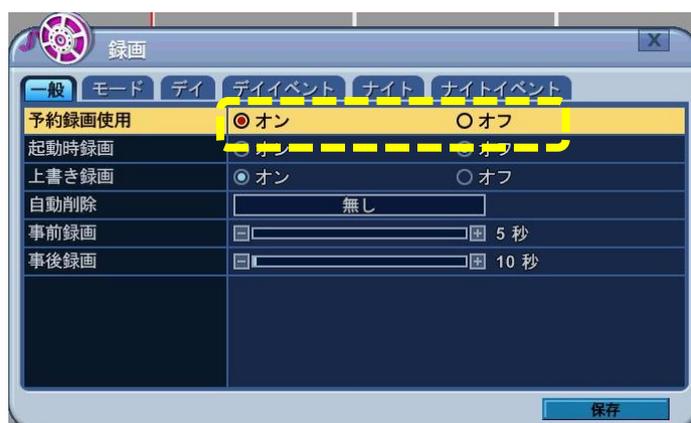
メニュー画面右端の🔴のアイコンをクリックするとチャンネルごとに3種類のイベント録画をまとめて設定することができます。



※ 「システム」のメニューはサポートしておりません。

4. 予約録画

「録画」メニューの「一般」タブの「予約録画使用」の項目をオンにすると、「予約録画」メニューのスケジュール表に従って録画します。このとき、通常の「デイ」モードに加えて「ナイト」モードでの録画が可能になります。曜日や時間帯ごとに「デイ」モードと「ナイト」モードと「録画休止」を自由に組み合わせて録画することができます。



4.1. 「ナイト」モードの設定

「予約録画使用」をオンにすると「録画」メニューの中の「ナイト」と「ナイトイベント」のタブが選択できるようになります。「ナイト」のタブ（イベント録画で録画する場合は「ナイトイベント」のタブも）を選択し、「3.録画の設定（P.26～）」を参照して「デイ」モードの設定と同様に設定を行ってください。

注意

「デイ」と「ナイト」のモードは必ずしもそれぞれ昼と夜に割り当てる必要はありません。2通りの異なる録画設定をそれぞれ好きな時間に割り当てることができるものとお考えください。

4.2. 予約録画設定

「予約録画」メニューを開くとスケジュール表が表示されます。（初期設定では全ての時間がナイトモードになっています。）



デイ(黄):

 デイモードで録画します。

ナイト(緑):

 ナイトモードで録画します。

録画休止(青):

 録画しません。

1. 曜日ごとに設定できます。ウィンドウの左の曜日を選択すると設定画面が表示されます。



モード	「ナイト」、「デイ」、「非録画」から選択します。
開始	録画開始時刻を入力します。
終了	録画終了時刻を入力します。

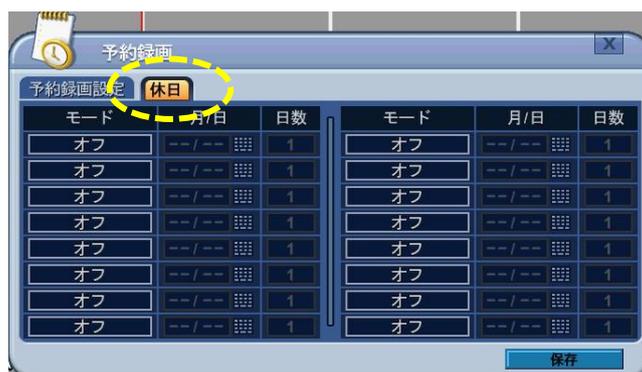
※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

2. 予約設定のコピー

スケジュール表の左の曜日を選択した状態でフロントパネルリモコンの画面分割ボタンを押すとその曜日の設定が他の曜日にコピーされます。

4.3. 休日設定

日付を指定して休日として設定を行うことができます。



モード	休日の録画モードを「オフ」、「デイ」、「ナイト」、「非録画」、「日~土」、「カスタム」から選びます。 （「オフ」を選ぶと休日設定を実行しません。曜日を選ぶとその曜日のスケジュールで録画します。休日独自のスケジュールで録画する場合は「カスタム」を選んで「カスタム」の設定を行います。
月/日	休日設定での録画を開始する日付。
日数	休日設定での録画を継続する期間（1日から15日間）。

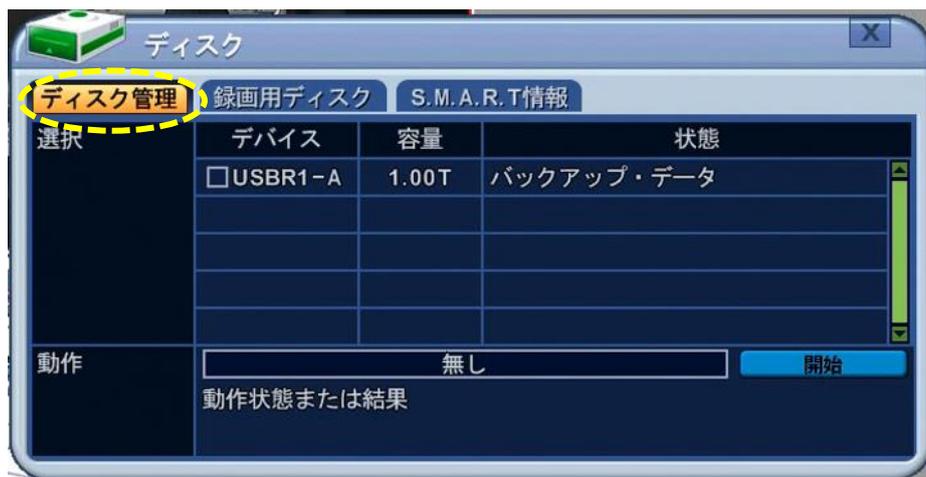
※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

5. ディスク



5.1. ディスク管理

ハードディスクやUSBメモリのフォーマットや、バックアップの設定などを行います。「ディスク管理」タブを選び、「選択」の項目でデバイスを選択し、下の「動作」の項目でそれに対して行う操作を選択します。



1. 選択

デバイスを選び、デバイスの欄の四角にチェックを入れます。

デバイス	デバイスの接続されているポートを表示します。	
容量	デバイスのおおよその総容量を表示します。	
状態	CD/DVD	CDまたはDVDが接続されています。
	不明データ	フォーマットされていないデバイスであることを表します。

バックアップデータが存在しません	デバイスにバックアップデータが入っていないことを表します。
録画データ	録画データがあるが、現在再生できない状態にあることを示します。
バックアップ・データ	バックアップデータが保存されています。
他のデータ	入っているデータが録画データやバックアップデータではないことを示します。
損傷	デバイスに何らかの損傷があります。

2. 動作

選択したデバイスに対してに行う操作を選択します。

なし	設定を変更しません
録画ディスクに指定	<p>内蔵のHDDを録画用HDDとして認識させます。HDDの全てのデータを削除しフォーマットします。フォーマットされたHDDは「録画ディスク」タブで表示されます。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>注意</p> <p>通常この操作は行いませんが、録画データを全て削除したい場合は、まず「録画用ディスク」タブを開き、使用しているHDDの録画用ディスクとしての指定を「除去（解除）」してからこの操作を行います。</p> </div>
録画ディスクリンク	<p>HDDのデータを削除せずに録画用HDDとして認識させます。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>注意</p> <p>本機で使用していたHDDのみリンクさせることができます。</p> </div>

バックアップ用 フォーマット	USBメモリーや外付けHDDをフォーマットします。
-------------------	---------------------------

5.2. 録画用ディスク

録画用に使用しているHDDの情報を表示します。



容量、範囲	HDDの使用量/総容量を表示します。また保存されているデータの期間と録画の有無を表示します。
デバイス	HDDが接続されているポートを表示します。
状態	安定 : HDDが安定しています。 損傷 : HDDが不安定です。
動作	HDDの録画用ディスクとしての指定を解除する場合、「除去」をクリックします。

5.3. S.M.A.R.T 情報

録画用ディスクの不良セクター、温度、時間（稼働日数）、状態がわかります。

※ 時間は目安です。



6. ネットワーク



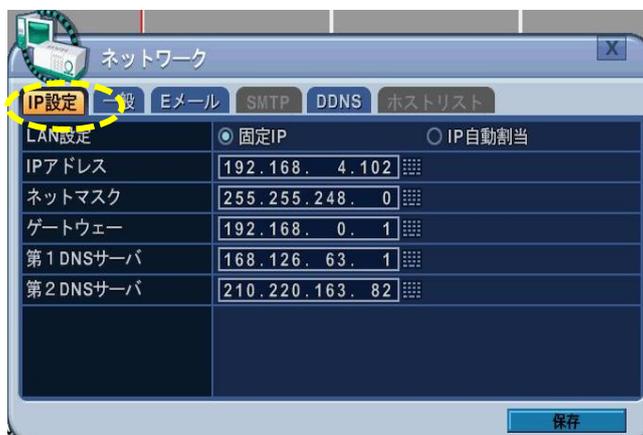
付属のPC用ソフト「EMS2」と無料スマートフォン用アプリ「MobileCMS」を使って遠隔で監視するための設定を行います。設定を行う前に、お使いのルーターと本機をLANケーブルで接続してください。

インターネット契約で固定IPの契約をしている場合、固定のIPアドレスを利用することができます。動的IPアドレスのご契約の場合（一般的にはこちらです）は、モデムの電源を入れ直したときや、一定の時間が経過したときなどにIPアドレスが変わるため、通常はDDNSを使います。

EASY P2P機能を使えばより簡単に遠隔監視を行うことができます。

6.1. IP設定

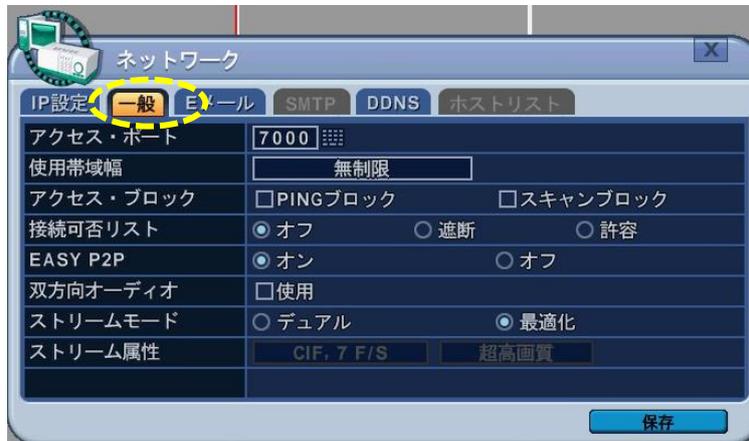
IPの設定を入力します。「LAN設定」で「IP自動割当」を選ぶと自動で入力されます。



LAN設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 固定IP : 固定IPの契約をしている場合、こちらを選択して以下の「IPアドレス」以下を入力します。 ■ IP自動割当 (DHCP) : 動的IPの契約をしている場合はこちらを選びます (一般的にはこちらです)。ルーターによって下のIPアドレス、ゲートウェイ、サブネット・マスクが自動で割り当てられます。
IPアドレス	固定IPアドレスを入力します。
ネットマスク	サブネット・マスクのIPアドレスを入力します。
ゲートウェイ	インターネット・ゲートウェイ・サーバーのIPアドレスを入力します。
第1 DNSサーバ	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
第2 DNSサーバ	バックアップDNSサーバのIPアドレスを入力します。第1 DNSサーバーに問題があるときにこのサーバーが使われます。

6.2. 一般

ネットワークの一般的な設定を行います。



アクセス・ポート	<p>ポート番号を設定します。</p> <p>(初期設定は7000です。本機が接続されているルーターの、設定した番号のポートを開放してください。ポート開放の方法はルーターのマニュアルなどを参照するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。難しい場合は下記の「EASY P2P」機能を使ってネットワークに接続してください。)</p>
使用帯域幅	<p>遠隔接続の通信速度を制限します。初期設定は「無制限」です。(“4 KBPS ~ 8 MBPS”から選択します。)</p>
アクセス・ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ■ PING : ONにするとPINGコマンドに応答しません。 ■ スキャン : 付属のEMS2 (遠隔監視用ソフト) からの検索に応答しません。
接続可否リスト	<p>外部の特定の機器のネットワーク接続を許可しないよう設定したり、特定の機器だけを許可するよう設定できます。「遮断」か「許容」にチェックを入れるとメニュー画面右の「ホストリスト」のタブが操作できるようになりますので、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。</p>
EASY P2P	<p>本機を接続しているルーターのポートを開放しなくても「EMS2 (PC用遠隔監視ソフト、付属CDに収録)」や</p>

	「MobileCMS（スマートフォン用遠隔監視アプリ）」からDVRに接続できるようにするための機能です。（詳細は別冊の遠隔監視ソフトの取扱説明書をご覧ください。）使用する場合は「オン」にチェックを入れます。
双方向オーディオ	「オン」に設定するとEMS2からの音声信号を本機の「AUDIO OUT」の端子から出力させることができます。
ストリームモード	遠隔監視時のライブ映像の設定を行います。初期設定では「最適化」になっていますが、映像が滑らかに見られないときなどは「デュアル」に設定します。 1) デュアル: 「デュアル」を選択すると下の「ストリーム属性」の項目の「画質」の設定ができるようになります。（解像度はCIF、フレーム数は7になります。） 2) 最適化： 録画フレームを30に設定すると30フレームで転送しますが、他の設定の場合は全て15フレームで転送します。
ストリーム属性	上の「ストリームモード」で「デュアル」を選択すると設定できるようになります。遠隔監視時の画質を選びます。

6.3. Eメール

イベントの発生をEメールで通知することができます。



使用	<p>メールの設定を選びます。「オフ」を選ぶとメールを送信しません。</p> <p>1) デフォルト: 既定のメールサーバーを使って送信します。「デフォルト」を選択すると下の「転送周期」以下の項目が設定できるようになります。</p> <p>2) SMTP: 任意のメールアドレスを入力します。「SMTP」を選択すると下の「転送周期」以下の項目と右の「SMTP」のタブが設定できるようになります。</p> <p>※ 設定が簡単な「デフォルト」の使用をお勧めします。</p>
転送周期	<p>メールを送信するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント : [即時、10分、1時間、1日] (「即時」に設定すると1分ごとに通知します。いずれの場合も設定した期間中にイベントを検知しなければ送信しません。) ■ ログ : [1日、1週間]
再施行回数	<p>メール送信に失敗した場合の再施行回数を指定します。</p>
メール送信ソース	<p>メール送信のきっかけとなるイベントを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント編集 : チャンネルごとにイベントを選択します。 (アラーム、モーション、ビデオロス、システム) ■ ログ (記録) : ログリストを送信します。
画像添付	<p>メールに画像を添付することができます</p>
Eメールアドレス	<p>5箇所までのメールアドレスにメールを送信できます。</p>

6.4. SMTP

このタブは「Eメール」タブで「SMTP」を選択すると設定できるようになります。

「デフォルト」を選択した場合、またはEメールを使用しない場合は設定する必要はありません。



サーバー	送信メールサーバー名または、IPアドレスを入力します。
接続	メールサーバーに応じたプロトコルを選びます。
ポート設定	使用するポート番号を入力します。（初期設定：25）
認証	メールサーバーに認証が必要な場合、「オン」に設定します。
ユーザーID	SMTPサーバーのユーザーIDを入力します。
パスワード	SMTPサーバーのパスワードを入力します。
送信アドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
テスト転送	送信テストを行います。

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

6.5. DDNS (ダイナミック DNS)

IPアドレスが変わっても遠隔視聴を継続するための仕組みです。

※ この機能を使用するには本機を接続しているルーターのポート開放を行う必要があります。方法はルーターのマニュアルなどを参照していただくか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。難しい場合は「EASY P2P」機能を使ってネットワークに接続してください (→P.41)。



使用	<p>DDNSのオン/オフと、DDNSのプロバイダーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ デフォルト： 「デフォルト」を選ぶと簡単にDDNSサービスを利用することができます。通常はこちらを利用してください。 (dvrhost.com) <p>付属CD収録のPC用ソフト「EMS2」のDVR登録画面の「IPアドレス」の欄（無料スマートフォン用アプリ「Mobile CMS」では「Host Adress」または「IP」の欄）に入力する内容は</p> <p>ホスト名 .dvrhost.com です。</p> <p>ホスト名は「メインメニュー」の「情報」で確認できます。</p>
----	---



上のサンプル画像のDVRの場合、入力内容は

GR68D42D.dvrhost.com

となります。

■ DYNDNS、NO-IP :

本機はDynDNSとNo-IPのDDNSサービスに対応しています。
（ご自身で登録する必要があります。）

ドメイン名	DYNDNSかNO-IPを利用する場合は、それらのサービスに登録されたドメイン名を入力します。
ユーザーID	DYNDNSかNO-IPを利用する場合は、それらのサービスのユーザーIDを入力します。
パスワード	DYNDNSかNO-IPを利用する場合は、それらのサービスのパスワードを入力します。
アップデートテスト	DYNDNSかNO-IPを利用する場合に、DDNSのアップデートのテストを行います。

注意

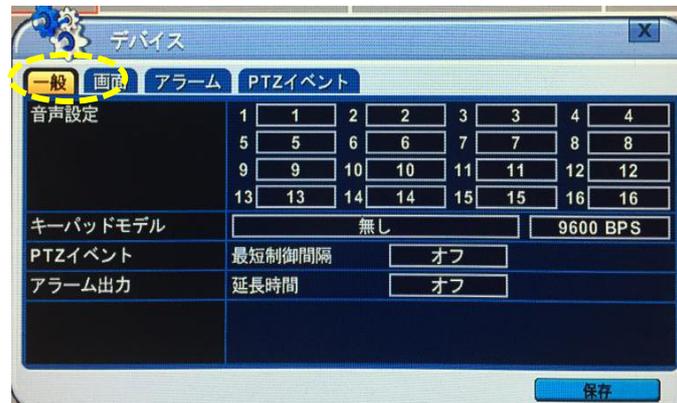
遠隔監視に使用するPCやスマートフォンをDVRと同じルーターでネットワーク接続している場合は、EMS2の「IPアドレス」（MobileCMSでは「Host Address」または「IP」）の欄にはローカルIPアドレスを入力してください。ローカルIPアドレスは「メインメニュー」→「情報」の「ネットワーク」の項目に表示されています。（「:」のあとの数字はポート番号ですのでこの欄には入力しません。）

7. デバイス



7.1. 一般

外部機器の接続に関する設定を行います。



音声設定	音声装置の使用のオン/オフを設定します。音声と映像には時間差が生じる場合があります。（弊社では音声装置は販売しておりません。）
キーボードモデル	コントローラーとボーレートを選択します。（弊社ではコントローラーは販売しておりません。）
PTZイベント	PTZイベント持続時間を設定します。（弊社ではPTZカメラは販売しておりません。）
アラーム出力	アラームの持続時間を設定します。（弊社ではアラームは販売しておりません。）

7.2. 画面

画面の設定を行います。



<p>解像度</p>	<p>モニターに出力する解像度を選択します。</p> <p>(800×600、1024×768、1280×720、1280×1024、1920×1080i、1920×1080P)</p> <p>HDMI自動の欄をチェックすると、HDMI出力に最適な解像度を自動検知して適用します。</p> <p>※ HDMIとVGAを同時に出力するとき解像度をHDMIに合わせて設定すると、VGAモニターの解像度が低い場合映像が映りません。その場合はHDMI自動のチェックをはずして解像度を低く設定してください。</p>
<p>OSDサイズ</p>	<p>OSD（オンスクリーンディスプレイ、画面に表示されるメニューなど）のサイズを選択します。（解像度が1920×1080の場合のみ）</p> <p>サイズの変更を適用するためには「保存」をクリックしたあと一度電源を切って入れ直してください。</p>

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

7.3. アラーム

センサーの入力とリレー出力、ブザーに関する設定を行います。（弊社ではセンサーやアラームは販売しておりません。）



<p>入力</p>	<p>チャンネルごとにセンサーのタイプを選びます。</p> <p>N.O. : 通常開回路のセンサー</p> <p>N.C. : 通常閉回路のセンサー</p>
<p>出力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 使用 : リレー出力のタイプを選びます。 ■ 停止方法 : リレー出力を止める方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ● イベント : イベントが終了すると出力が止まります。 ● 手動設定 : リレー出力を手動で止める設定です。止めるときは右の「制御」の下「オン/オフ」のアイコンをクリックします。 ■ イベント編集 : 右の🔴のアイコンをクリックして出力のきっかけとなるイベントを選びます。



	<ul style="list-style-type: none"> ● アラーム入力：センサーの検知 ● モーション：モーション検知 ● ビデオロス：映像信号の切断 ● システム <ul style="list-style-type: none"> ○ HDD ディスク障害 ○ 録画システム障害 ○ 温度警告 (サポートしていません。) ○ ファンロック警告 (サポートしていません。) ○ 電圧警告 (サポートしていません。) ○ RTC用電池 (内蔵の時計用の電池) 電圧低下警告 ○ 外部機器イベント ○ ネットワーク・リンク切断 ○ 管理者ログイン ○ 電源復旧 ○ ディスクフル ○ パスワード繰り返しエラー ○ 補助イベント
ブザー	<p>本機内蔵のブザーの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 使用：オン/オフを選びます。 ■ 停止方法：ブザーを止める方法を選びます。(上記「出力」の項目参照。) ■ イベント編集：右ののアイコンをクリックして出力のきっかけとなるイベントを選びます。(上記「出力」の項目参照。)

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

7.4. PTZイベント

イベントが発生したときに、PTZカメラにあらかじめ設定しておいた動作を行わせることができます。（「メインメニュー」→「設定」→「カメラ」メニューの「PTZ設定」の設定を正しく行った上で設定してください。→P.25）



チャンネル	設定するチャンネルを選びます。
有効	イベント発生時に移動して映す位置、またはイベント発生時に行うツアー（一連の動き）を設定します。（位置とツアーは事前に「P.T.Z」メニューで設定してください。→p.59～）
無効	イベント終了後のカメラの位置またはツアーを設定します。
イベント編集	 をクリックしてきっかけとなるイベントを選びます。 （「システム」の機能はサポートしていません。）

※変更を保存するには「保存」アイコンをクリックします。

8. システム

システムに関する設定を行います。

8.1. 一般



コントロールID	この項目は使用しません。
システム名	本機を複数台使用する場合は名前を付けて区別します。
キー操作音	前面パネルとリモコンで操作する際に本体から出る音のオン/オフを設定します。
自動ログアウト	自動ログアウトのオン/オフと、最後に行った操作からログアウトするまでの時間を設定します。 (OFF→ 1分→ 3 分→ 5 分→ 10分→ 30分→ 60分→ 120分)
HDD状態監視	「ディスク」メニューで「S.M.A.R.T情報」を表示するかどうかを選びます。
キー感度	本体の前面タッチパネルの感度を調整します。

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

8.2. 日時設定

日時を設定します。（この設定は録画を停止してから行ってください。）



タイムゾーン	グリニッジ標準時との時差を設定します。日本は9時間進んでいますので「GMT+09:00 (STANDARD)」(初期設定)を選びます。
日付表示形式	日付の表示形式を選びます。 (月/日/年 → 日/月/年 → 年/月/日)
NTP時刻同期	NTPサーバー(現在の時刻を提供するサーバー)との時刻同期機能を使用するかを選びます。
NTPサーバー	NTPサーバーのアドレスを入力します。(NTPサーバーの代表的なものとしては「ntp.nict.jp」などがあります。)
NTP同期テスト	NTPサーバーとの通信のテストを行います。
日付	NTPサーバーを使用しない場合に日付を入力します。(「NTP時刻同期」がオンの場合は無効になります。)
時間	NTPサーバーを使用しない場合に時刻を入力します。(「NTP時刻同期」がオンの場合は無効になります。)

※ 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

8.3. ユーザーアカウント



ユーザー/名称	ユーザーは「管理者」と「ユーザー1～10」の合計11人設定できます。それぞれに任意に名前を付けることができます。
有効化	<ul style="list-style-type: none"> ■ オン：「オン」に設定されたユーザーはログインできます。 ■ オフ：「オフ」に設定されたユーザーはログインできません。 (初期設定では管理者のみ「オン」でその他のユーザーは「オフ」になっています。)
権限	管理者は以下の項目について各ユーザーが操作する権限の有無を設定することができます。 (再生、PTZ制御、バックアップ、設定、録画停止)
遠隔用パスワード	各ユーザーがネットワーク接続するとき使用するパスワードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 接続制限：これを選択されたユーザーはネットワーク接続ができません。 ■ システムP/W（システムパスワード）： これを選択されたユーザーは、本機を操作するとき使用

	<p>する通常のパスワードをネットワーク接続時にも使用します。</p> <p>■ カスタムP/W（カスタムパスワード）： 選択されたユーザーが通常のパスワードとは別のネットワーク接続専用のパスワードを使用するように設定します。</p>
使用チャンネル	選択されたユーザーが視聴できるチャンネルを選びます。
システムパスワード	<p>パスワードを変更します。</p> <p>現在：現在のパスワードを入力します（管理者のみ）。</p> <p>新しい：新しいパスワードを入力します。</p> <p>再入力：確認のため新しいパスワードを入力します。</p>

※ 変更を保存するには「保存」ボタンを押します。

8.4. アップデート

ファームウェアのアップデートを行うメニューです。



通常このメニューは使用しません。

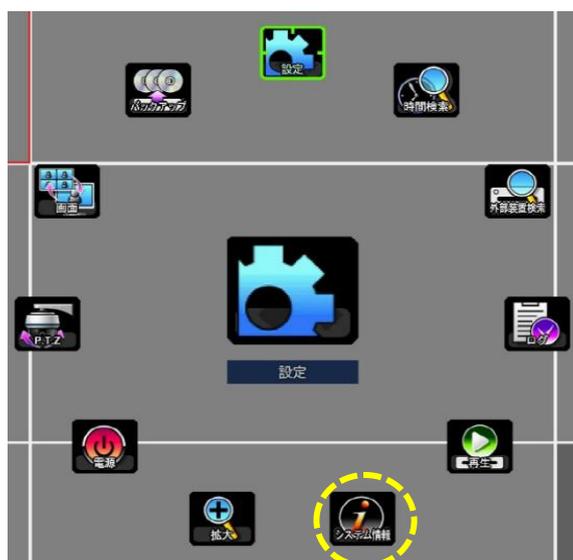
8.5. 詳細設定



工場出荷時設定	工場出荷時の設定に戻します。「オン」を選択し、「保存」をクリックします。
言語	言語を変更します。（初期設定：日本語）
ビデオモード	弊社では「PAL」の設定での使用をサポートしておりません。NTSCのカメラを接続し、NTSCの設定ままご利用ください。

8.6. システム情報

システムに関する情報を表示します。メインメニューから「システム情報」を選びます。

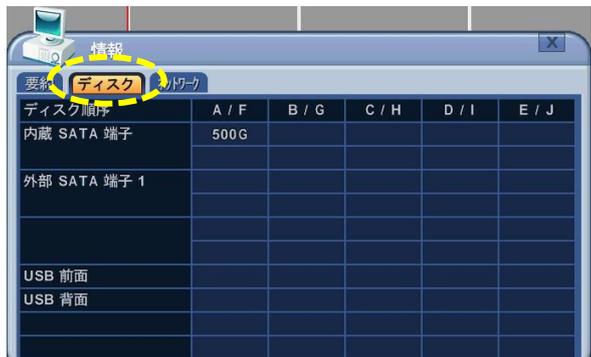


1.要約



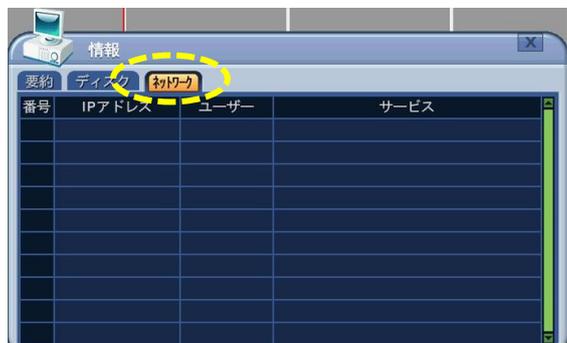
モデル情報	映像圧縮方式やチャンネル数などを示します。
ホスト名 (QRコード)	ホスト名は「デフォルト」のDDNSを利用するとき、「EasyP2P」を利用するときが必要です。(QRコードはスマートフォンで接続するときに使います。)
MAC	MACアドレスです。
言語	使用している言語を表示します。
ネットワーク	IPアドレスとポート番号を示します。
録画用ディスク 容量	映像を録画できる最大の容量を示します。
ディスク概要	HDDの構成を示します。
バージョン	ファームウェアのバージョンを示します。

2.ディスク : 内蔵のHDDと外付けした記憶装置の情報を示します。



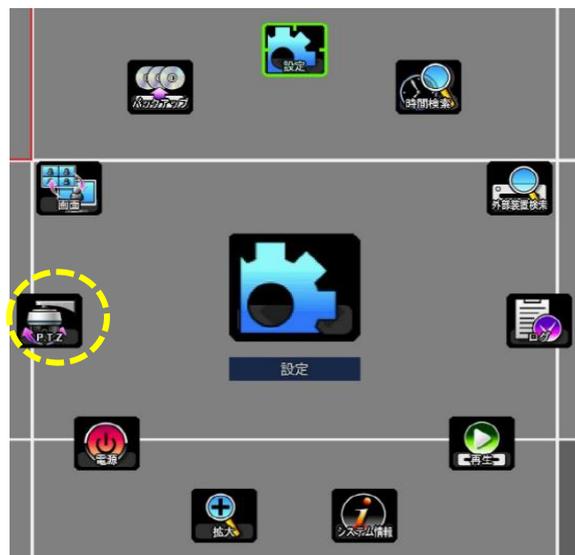
内蔵SATA端子	内蔵のHDDの容量を示します。
外部SATA端子1	外付けされたeSATA対応のHDDの容量を示します。
USB前面	前面のUSB端子に接続された記憶装置の容量を示します。
USB背面	背面のUSB端子に接続された記憶装置の容量を示します。

3.ネットワーク : 本機に対するインターネット接続の状態を示します。



番号	接続した順番を表します。
IPアドレス	接続しているユーザーのIPアドレスです。
ユーザー	ユーザー名を表示します。
サービス	利用している内容を表示します。

VI. PTZの制御 / UTC機能



PTZ（パン、チルト、ズーム）の制御：

PTZカメラが接続されるとPTZメニューを利用できるようになります（弊社ではPTZカメラは販売しておりません。）。PTZカメラの設定はチャンネルごとに行います。（「カメラ」メニューのPTZ設定→P.25）

UTC機能：

PTZメニュー内でUTC機能（DVRでカメラのメニューの設定を行う機能）を使用することができます。

1. PTZメニュー

- 1) PTZ制御を有効にするには、制御したいカメラを単一画面で表示します。
- 2) メインメニューを開いて「PTZ」のアイコンをクリックするか、リモコンの「PTZ」ボタンを押します。下の写真のように表示されます。



- 3) 「OK」のアイコンをクリックするか、リモコンの「ENTER」ボタンを押すと画面上に操作コントローラーが表示されます。

各アイコンの説明

アイコン ボタン	機能
 OKボタン	<p>このアイコンをクリックすると画面上に右のようなPTZカメラのコントローラーが表示されます。もう一度「OK」をクリックすると元に戻ります。</p> <p>(このアイコンが表示されているときにリモコンの「ENTER」ボタンを押しても右のコントローラーが表示されます。)</p> 
 ヘルプ ボタン MENU ボタン (リモコン)	<p>コントローラーの中のこのアイコンをクリックするか、メニューボタンを押すと「ヘルプ」メニューが表示されます。もう一度押すと戻ります。</p> 
	<p>上下のアイコン：チルト（上下のコントロール） 左右のアイコン：パン（左右のコントロール）</p>
	<p>ズームイン、ズームアウトのコントロール</p>

2. プリセットとツアー

パン、チルト、ズームの位置（プリセットポジション）を記憶し、その位置へ移動したり、自動で複数のプリセットポジションをめぐるように設定したりできます。

ボタン	機能
	<p>プリセットポジションの設定</p>

プリセット 設定ボタン	<ol style="list-style-type: none"> 1. PTZを調整して撮影位置を希望の位置に合わせます。 2. プリセット設定ボタンを押します。 3. プリセットポジションの番号を設定します。 4. 「OK」を押すと保存して設定画面から抜けます。
 GOボタン	<p>プリセットポジションへの移動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GO ボタンを押します。 2. プリセットポジションの番号を入力し、「OK」を押します。
 オートツアー ボタン	<p>オートツアー</p> <p>指定した範囲のプリセットポジションを順に撮影します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オートツアーボタンを押します。 2. プリセットポジションの範囲を入力し、「OK」を押します。

2.1. ツアーグループ

ツアーグループを作成することで、カメラをプログラムどおりに移動させることができます。メインメニュー→設定→カメラ→「PTZ」の項目の「設定」のアイコンをクリックし、設定を行います。



コントロールID	モデルを選択し、ボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。(PTZカメラの取扱説明書を参照してください。)
モデル	
ボーレート	
ツアー	グループを4つまで作成できます。
グループリスト	ここから下は各グループのサブメニューです。

	10個までのプリセットポジションを設定できます。
プリセット番号	開始するときのプリセットポジションと停止するときのプリセットポジションの番号を入力します。
画面切替時間	プリセットポジションを切り替えるまでの時間を設定します。
変更	グループの設定を変更するときにそれぞれのアイコンをクリックします。

3. カスタム機能

ボタン	機能	
	PTZ カスタム機能 1.2.3	この機能はサポートしていません。

4. 自動パン・自動チルト・電源

ボタン	機能
	自動パン
	自動チルト
	電源 オン / オフ

5. PTZ カメラモデルリスト

	モデル名	3X	速度	プリセット	Go to	ツアー	パン	チルト	Pat	Me	Esc/ Enter
1	PELCO, D	○	○	○	○	○	○		○	○	
2	RVT, EZ Protocol	○	○	○	○	○			○	○	○
3	PELCO, P	○	○	○	○	○	○		○	○	
4	Hitron, Fastrax 2	○	○	○	○	○			○	○	○
5	Bosch, Auto Dome										
6	MERIT LINLIN										
7	APPROMEDIA										

8	LG,MULTIXE CAM/DOME										
9	BBV,PROTOCOL V2										



6. UTC機能

弊社のAHDカメラSAH-G272、SAH-G281、SAHN272、SAH-N281はPTZカメラではありませんが、PTZメニューの中でUTC機能（DVRでカメラのメニューの設定を行う機能）を使用することができます。

- 1) 「メインメニュー」→「設定」→「カメラ」→「PTZ」の「モデル」の項目を「Pelco, Coaxitron Menu」に設定してください（初期値のまま）。
- 2) 設定を行いたいカメラを単一画面で表示させます。
- 3) 画面にPTZカメラのコントローラーを表示させます。（「1.PTZメニュー」参照）
- 4) コントローラー下部の  のボタンをクリックするとカメラのOSDメニューが表示されます。
- 5) 上下左右のボタンと「E」ボタンを使って各項目を設定します。
- 6) OSDメニューの「保存&終了」を選択して「E」ボタンを押して終了します。

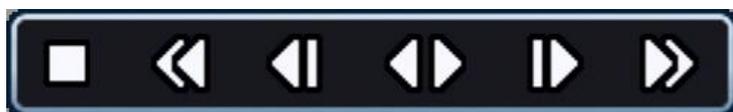
※ OSDメニューの詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

Ⅶ. 再生/検索

本機では、「再生」と「検索」の二つの方法で映像を再生することができます。検索にはいくつかの方法があります。

1. 再生

ライブ監視中に画面下部のツールバーの「再生」アイコンか、メインメニューの中の「再生」アイコンをクリックすると、最新の録画データを再生します。再生を開始すると画面下部に下のコントローラーが表示されます。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥

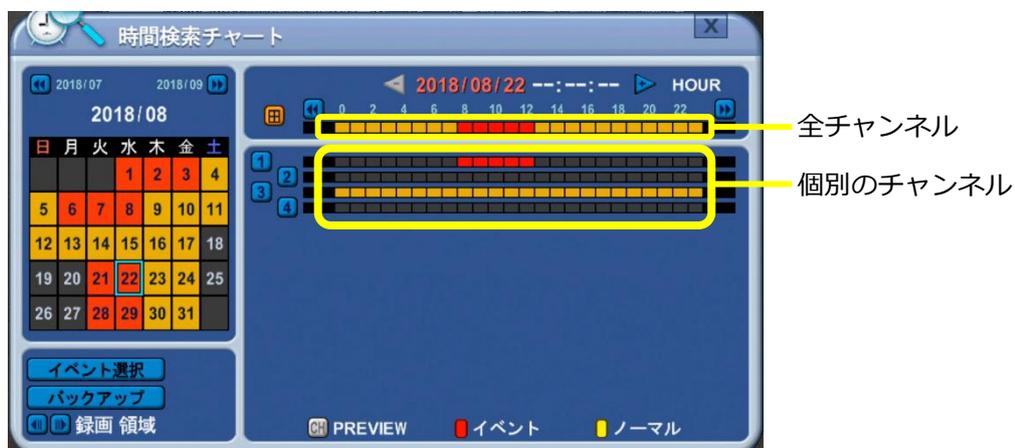
①	停止	④	再生・逆再生 (再生・逆再生のアイコンで1つのアイコンです。クリックするごとに切り替わります。)
②	巻き戻し	⑤	一時停止、コマ送り
③	一時停止、コマ戻し	⑥	早送り

2. 検索

録画された映像を検索して再生します。

2.1 時間検索再生

カレンダーとタイムチャートで映像を検索して再生します。



1. メインメニューで「時間検索」を選択するか、リモコンの「時間検索」ボタンを押すと、タイムチャートが表示されます。イベント録画のデータは赤、通常録画のデータは黄色で表示されます。
2. マウスで日付と時間を選択するか、リモコンか本体前面パネルの「+/-」ボタンと方向ボタンを使って日付と時間を選択します。（リモコンか本体の「+」ボタンを押すごとに日→時→分(5分単位) →分 (1分単位)の順に絞り込んで行きます。「-」ボタンを押すと戻ります。マウスの場合は日付を選択した後にウィンドウ上部の「+」のアイコンを押すと絞り込みます。マウスのホイールを使っても「+/-」の操作を行うことができます。）
3. 再生するにはマウスで目的の時間帯のブロックをダブルクリックするか、リモコンか本体前面パネルの「ENTER」ボタンを押します。全チャンネルを再生する場合は上の図の上のバーから、個別のチャンネルを再生する場合は下のバーから時間帯を選択します。

注意

映像が録画されてから見られるようになるまでに1分ほど時間がかかります。（録画直後の映像を見ることはできません。）

2.2 プレビュー検索

映像を静止画で確認しながら検索を行います。



1. メインメニューで「時間検索」を選択するか、リモコンの「時間検索」ボタンを押すと、タイムチャートが表示されます。

2.上の写真の点線で囲ったチャンネルの番号をマウスでクリックします。右側に6つの静止画と時間が表示されます。

3.再生するには、マウスで静止画をダブルクリックするか、リモコンか本体前面パネルの方向ボタンで静止画に移動し、「ENTER」ボタンを押します。

2.3 イベント録画検索

イベント録画のデータを検索し、赤く表示します。



1. マウスで「イベント選択」をクリックするか、リモコンか本体前面パネルの方向ボタンで移動し、「イベント選択」に合わせて「ENTER」を押します。

2. 「検索モード」を「イベント録画」に合わせて「保存」します。



2.4 イベントソース検索

「アラーム」、「モーション」、「ビデオロス」の3つのイベントソースをそれぞれチャンネルごとに検索することができます。検出されたデータがある時間帯はタイムチャートの中で赤く表示されます。

1. 「時間検索」→「イベント選択」の「検索モード」で「イベントソース」を選択します。下のアラーム、モーション、ビデオロスより検索したい項目とチャンネルを選択します。



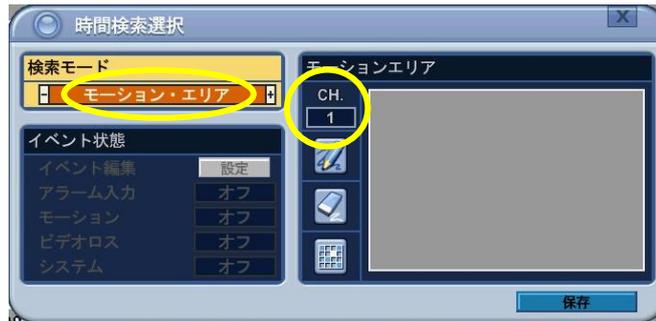
- 1) アラーム入力：1～4のアラーム入力を選択します。
 - 2) モーション：1～4のチャンネルから選択します。
 - 3) ビデオロス：1～4のチャンネルから選択します。
2. 「イベント編集」の項目の右の「設定」のアイコンをクリックすると3つのイベントソースをまとめて設定することができます。（「システム」の項目はサポートしていません。）



2.5 モーションエリア検索

指定したエリアで動きが検知された録画データを検索します。データがある時間帯はタイムチャートの中で赤く表示されます。

1. 「時間検索」→「イベント選択」の「検索モード」で「モーションエリア」を選択します。



2. 検索したいチャンネルを選択します。

3. 検索するモーションエリアを選択します。

 : 全て選択、  : 全て削除、  : 特定範囲を選択

※ 選択された範囲は青く表示されます。特定範囲を選択する場合は分割されたエリアをダブルクリックすると選択できます。

4. 「保存」をクリックします。

3. GOTO SEARCH (日時入力検索)



1. リモコンか前面パネルの「時間検索」ボタンを2秒間押し続けます。「GOTO SEARCH」メニューが表示されます。

2. 日時を入力します。

3. マウスで「開始」をクリックするか、リモコンの「ENTER」ボタンまたは「MENU」ボタンを押すと再生を開始します。

4. ログリスト検索

ログ（データ記録）のリストから録画データを検索します。

メインメニューで「ログ」を選択するか、リモコンか前面パネルの「ログ」ボタンを押すと、ログリストが表示されます。



日付	時間	メッセージ
2018/09/18	18:13:23	録画開始
2018/09/18	18:13:16	システム開始
2018/09/18	18:09:20	電源オフ (admin)
2018/09/18	18:09:13	録画停止 (admin)
2018/09/18	18:09:13	ユーザーログイン (admin)
2018/09/18	18:07:55	ビデオロス CH 2
2018/09/18	18:07:54	ビデオロス CH 1
2018/09/18	17:56:43	ビデオロス復旧 CH 2
2018/09/18	17:56:43	ビデオロス CH 2
2018/09/18	17:56:21	ビデオロス復旧 CH 2
2018/09/18	17:43:49	ビデオロス復旧 CH 1
2018/09/18	17:43:44	ビデオロス CH 1

タブ	説明
オール	全てのログ。
システム	システムに関するログ。
ネットワーク	ネットワークに関するログ。
イベント	イベント録画のログ。
ビデオロス	ビデオロスのログ。

2. 左右[◀▶]ボタンでタブを切り替えます。上下[▼▲]ボタンで再生する項目を選択します。下のリストの中にカーソルがある状態で左右[◀▶]ボタンを押すとページを移動します。
3. マウスでダブルクリックすると再生します。リモコンの場合はカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押すと再生します。

Ⅷ. バックアップ

録画映像のバックアップを行います。

1. 手動バックアップ

1.1 外付けハードディスク/USBメモリー

- 1) 本体のUSBポートに外付けハードディスクもしくはUSBメモリーを接続します。
- 2) メインメニューで「バックアップ」を選択します。



デバイス	マウスか「+/-」ボタンを使ってバックアップに使用するポートと機器を選択します。
チャンネル	バックアップするチャンネルを選択します。
データ選択	全データ：常時録画とイベント録画のデータ両方 イベントのみ：イベント録画のデータ
ファイル	<ul style="list-style-type: none">■ 専用形式とMCDプレイヤー： 独自の形式の映像ファイルと、専用の再生ソフト「McdPlayer」を保存します。■ 専用形式：独自の形式の映像ファイルのみを保存します。■ AVI：AVI形式でバックアップします。Windows Media Playerなどで再生できます。
期間	バックアップする期間を指定します。

動作	「開始」を選択するとバックアップを始めます。下にバックアップの進行状況が表示されます。
----	---

注意

- バックアップ中は他の作業はできません。
- 録画して間もないデータはバックアップできません。しばらく時間をおいてバックアップを行ってください。

1.2 外付けDVDドライブ

外付けハードディスクへのバックアップと同様に設定します。

※バックアップ中にディスクの容量がいっぱいになった場合、ディスクは自動的に排出されます。新しいディスクがドライブに挿入されるとバックアップを再開します。

1.3 バックアップ範囲の設定

時間検索メニュー（メインメニュー→「時間検索」）からバックアップを行います。タイムチャートのバックアップ開始時間にカーソルを合わせてを押します。次に終了する時間にカーソルを合わせてを押します。その間の時間帯が青く表示されます。



「バックアップ」のアイコンを押すとバックアップの設定画面に切り替わり、青く変わった時間帯がバックアップ範囲として入力された状態になります。

2. バックアップデータの再生

2.1 本機でのバックアップデータの再生

専用形式でバックアップされたデータは本機で再生することができます。

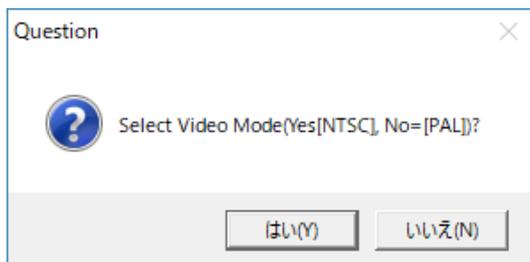
1. 専用形式のデータの入ったUSBデバイスをUSBポートに接続します。
2. メインメニューで「外部装置検索」を選択します。「外部増設ディスク」ウィンドウが表示されます。
3. 「開始」をクリックすると「時間検索チャート」が表示されます。「時間検索再生」と同じ手順で再生します。

2.2 パソコンでのバックアップデータの再生

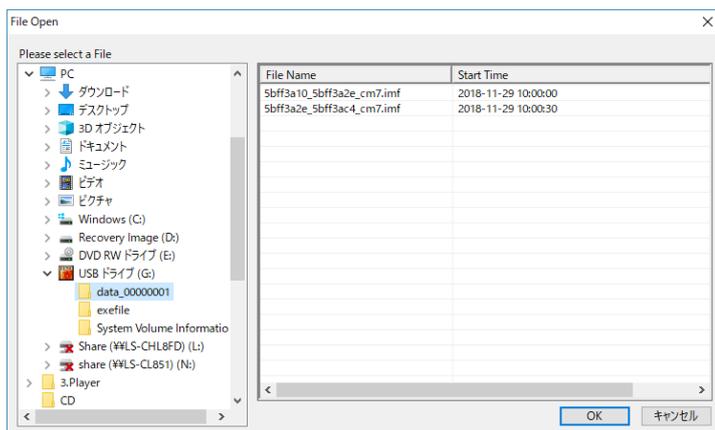
PCでのバックアップデータの再生には付属CD収録の「McdPlayer」もしくは「EMS2」を使います。（EMS2での再生方法は別冊遠隔監視ソフト取扱説明書P.45参照）ここでは「McdPlayer」での再生方法を説明します。「McdPlayer」は付属CDからPCにコピーするか、DVRから映像を手動バックアップするときに「ファイル」の項目で「専用形式とMcdPlayer」を選択してUSBデバイスに保存してください。

1. PCに付属CDを挿入（USBデバイスを接続）します。
2. PCでCD（USBデバイス）を開きます。
3. 「McdPlayer.exe」をダブルクリックして「McdPlayer」を起動します。

4. 次のようなウィンドウが表示されたら「はい」をクリックします。



5. 「File Open」ウィンドウが表示されたら右側の「Start Time（録画開始時間）」を確認しながらバックアップされたファイル（拡張子が「.imf」のファイル）を選択し、「OK」をクリックして再生を開始します。（「File Open」ウィンドウが表示されず、再生用のウィンドウが表示された場合はウィンドウ左上の  のアイコンをクリックすると「File Open」ウィンドウが表示されます。保存場所から再生するファイルを選択します。）



- ※ バックアップしたUSBデバイスの中に複数のバックアップフォルダがある場合、McdPlayerの起動後に「Select Playlist」が表示されます。再生するフォルダを選択して「OK」をクリックしてください。

2.3 McdPlayerの使用方法



①	「File Open」ウィンドウを開き、再生するファイルを選択します。
②	映像のキャプチャーを印刷します。
③	映像が改ざんされていないか確認します。改ざんされていないければ”Has not been tampered”と表示されます。
④	数字のチャンネルを単一画面表示します。
⑤	4画面で表示します。
⑥	再生を制御します。一時停止とコマ送り（コマ戻し）は兼用です。
⑦	映像のキャプチャーを保存、印刷します。
⑧	インターレース解除。ちらつきが気になるときに使用すると軽減することがあります。
⑨	画面上の文字を表示するかどうかを切り替えます。
⑩	映像の縦横の比率を正しく表示します。

3. 自動バックアップ(FTP)

本機は録画データをFTPサーバーに自動で転送することができます。

※ サーバー側の設定を正しく行ってください。

1. メインメニューで「バックアップ」を選び、「自動バックアップ」タブを選びます。



デバイス	「FTP」を選択し、右側の「設定」アイコンをクリックすると「FTP設定」ウィンドウ（P.75参照）へ移動します。
期間	自動でバックアップする時間の範囲を設定します。
動作	「FTP設定」ウィンドウで必要な設定を行ったあとに「開始」アイコンをクリックするとバックアップの設定が完了します。下に進捗状況が表示されます。

2. 「FTP設定」ウィンドウで設定を行います。



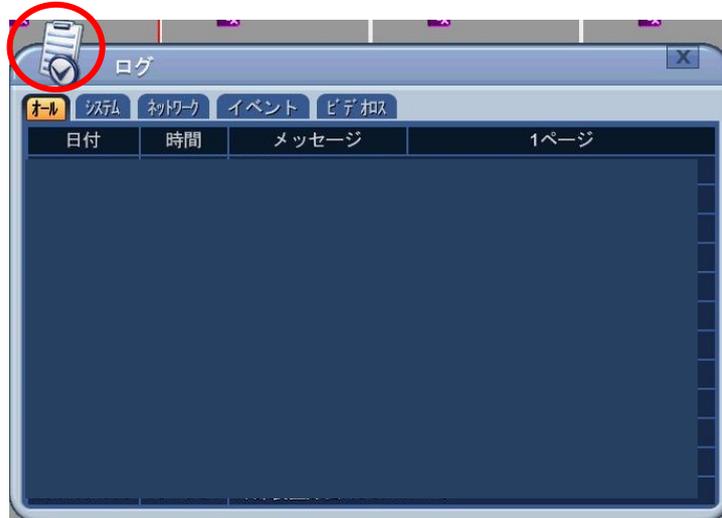
サーバー	FTPサーバーのIPアドレスかサーバ名を入力します。
ポート設定	使用するポートを設定します。（通常は「0021」）
ユーザー ID	FTPサーバーのユーザーIDを入力します。
パスワード	FTPサーバーのパスワードを入力します。
接続	接続モードを選択します。通常はパッシブモードに設定してください。
バックアップ先フォルダ	FTPサーバーのバックアップ先のフォルダ名を入力します。
テスト	「開始」アイコンをクリックすると通信のテストを行います。

- ※ 自動バックアップされたファイルの再生にはMCDPlayerかEMS2を使用します。ソフトを開いてからバックアップファイルを開いてください。

4. ログリストのバックアップ

1. USBメモリーか外付けHDDをUSBポートに差し込みます。

2. メイン画面で「ログ」アイコン  を選択します。



3. 本体前面パネルの「バックアップ」ボタンを押すか、上の画像の丸で囲ったアイコンをクリックすると「ログバックアップ」ウィンドウに移動します。



デバイス	バックアップ先のデバイスを選択します。
種類	ログの種類を選択します。
期間	バックアップする期間を指定します。
動作	「開始」アイコンをクリックするとバックアップを始めます。 ※ 「完了」の表示が出るまでデバイスをUSBポートから抜かない てください。情報量が多いと数時間かかる場合があります。

※ ログのバックアップデータは英語で表示されます。

IX. 仕様

システム	
映像システム	NTSC
映像入力	4チャンネル(BNC)
映像出力	HDMI、VGA
音声入出力	入力x4、出力x1
センサー入出力	入力x4、出力x1
シリアルポート	RS485
USBポート	2 (前面 / 背面)
録画	
映像圧縮方式	H.264
録画速度	1920×1080 : 120fps、 1280×720以下 : 120fps
録画モード	連続、スケジュール、イベント(モーション、アラーム入力)
録画画質	超高画質、高画質、中画質、低画質
プリアラーム	1~5秒
ポストアラーム	5~300秒
モーション検知エリア	8 x 8
再生	
検索モード	カレンダー、時間検索、イベント、プレビュー
再生速度	1 ~ 16倍 FF/REW、STEP
保存/バックアップ	
内蔵HDD	SATA HDD x 1個
外部ストレージ	e-SATA x 1 / USB x 1
バックアップ	外付けHDD / USBメモリ / ネットワーク
OSD	

表示パターン	1, 4
デジタルズーム	2/4/8倍
ネットワーク	
ネットワーク配信	H.264 / JPEG
ネットワークユーザー数	管理者 x 1 + ユーザー x 10
ネットワーククライアント	PC : 専用ソフトウェア (EMS2 : Windows) 、ブラウザ (IE) モバイル : iOS、Android (MobileCMS)
リモート通知	メールお知らせ、PUSHサービス(Smart Phone)
ネットワークプロトコル	TCP/IP、SMTP、DHCP、DDNS、UPnP、NTP、FTP
その他	
操作	リモコン、マウス、ソフトウェア
電源復旧	自動復旧
ログ	イベントログ / システムログ
Watchdog	電源自動復旧
外形寸法	300(幅) X 46.8(高) X 210(奥) (mm)
電源	12V 5A
動作可能周囲温度	30 ~ 80% RH, 5℃ ~ 40℃ (41°F ~ 104°F)

株式会社 セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-11-6相馬ビル

TEL:03-5911-1045

FAX:03-5911-1046

E-mail:info@selen.co.jp

<http://www.selen.co.jp>

1811A